

マテリアリティ

Anti-Corruption 腐敗防止の徹底

16 平和と公正を
すべての人に

目標	2023年度の進捗	2024年度以降の取組み／施策案等
■ 腐敗防止に関する方針および手順に関するコミュニケーションの促進	■ 世界40カ国の全従業員を対象としたKWEグループ統一コンプライアンス教育を4半期ごとに実施	■ KWEグループ統一コンプライアンス教育を継続
■ 不正行為に関する業務上のリスクの把握／確認された不正行為事例の把握と適切な措置	■ コンプライアンス専任担当者を設置 ■ グローバル内部通報システム(ホットライン)の運用開始 ■ コンプライアンス項目をグループレベルで可視化すべく、既存の各地域・法人のホットラインからグローバル・ホットラインへの統一、運用促進に向けたアクセス方法の社内周知等を徹底	■ グローバル内部通報システムの実効性の確保に向けて、コンプライアンス専任担当やジェネラル・カウンセル職が主導する教育活動を継続 ■ さらに実効性向上に向けて、統一されたグローバル・コンプライアンス・トレーニング・プログラムをベースに、各極独自の教育やプログラム等を展開

Concept/Policy

KWEグループコンプライアンス基本方針

KWEグループは、高い倫理観、責任をもって公正な企業行動を実践し、社会から信頼される企業グループを目指します。

1. KWEグループの役員および従業員は、コンプライアンスを遵守し、誠実かつ良識ある行動に努めます。
2. KWEグループは、経営判断および事業運営に当たりコンプライアンスを最優先します。
3. KWEグループは、コンプライアンス違反に対しては責任ある姿勢で臨み、原因を究明し再発を防止します。

コンプライアンス体制

KWEグループリスク管理体制に準じた以下のコンプライアンス体制を構築しています。

- リスク管理統括責任者は、KWEグループにおけるコンプライアンス違反の未然防止ならびにコンプライアンス違反が発生した場合の対応の指揮を統括
- 本部長は、所管する関係会社のコンプライアンス体制を掌握し、本部におけるコンプライアンス違反の未然防止ならびにコンプライアンス違反が発生した場合の対応を指揮
- 本部長および海外関係会社社長は、以下のいずれかに該当する場合、リスク管理統括責任者に状況を報告し、その指示に従う。
 - (1) 社業に関して重大なコンプライアンス違反またはその疑いのある事象を認知した場合
 - (2) 決裁すべき案件につき、コンプライアンス面で是非の判定ができない場合

- 海外関係会社社長は、本部長の指導に基づき、当該関係会社において、「KWE Code of Conduct」および「KWEグループコンプライアンス基本方針」に則った適正な企業行動の推進を図る。

この体制のもと、昨今の各国法規制の域外適用の拡大や制裁金の高額化、サプライチェーン全体におけるコンプライアンス意識の高まりなど複雑・多様化、グローバル化する法的リスクに鑑み、弁護士資格を持つジェネラル・カウンセル職(以下GC)を2021年4月に、グループコンプライアンス担当者を2023年4月に任命しました。これらにより、グループ全体としてのコンプライアンス／リスク対応とガバナンスのさらなる強化を進めています。

KWEグループリスク管理体制については下記をご参照ください。

<https://www.kwe.com/jp/about/sustainability/risk/>

Anti-Corruption

コーポレート部門とGCの連携による グループレベルでのコンプライアンス徹底

事業環境の変化に対応すべく、2023年4月よりコーポレート部門内にグループ・コンプライアンス担当を新設し、コンプライアンス・倫理に関するアドバイスやグループ規程の策定、トレーニング等を行っているほか、コンプライアンス違反の報告を受け調査を実施します。

内部通報制度の運用強化

従業員がより適切に通報・問題提起しやすい体制をグループ全体で統一的に構築すべく2023年5月に導入したグローバル内部通報システム(ホットライン)は、世界中

の全従業員がアクセスでき、法律やグループポリシーの違反、その可能性への懸念等を表明することができます。言語や通報手段(ウェブサイト/電話/メール/ファクシミリ他)を問わず匿名での報告を可能とするなど、潜在的問題の早期発見や改善に向けて、懸念事項を共有しやすいシステムとしており、日々の運用を通して、コンプライアンス意識の維持・向上に寄与しています。

2023年度は、通報の処理方法に一貫性を持たせ、コンプライアンス項目をグループレベルで可視化すべく、各地域本部と協力のうえ、既存の各地域・法人のホットラインからグローバル・ホットラインへの置き換えを進めました。また、運用促進に向けたホットラインへのアクセス方法の社内周知等にも努めました。

KWEグループ グローバル・コンプライアンス・トレーニング・プログラム(eラーニング)

実施スケジュール		コース
2022年	4月～6月	倫理および行動規範
	7月～9月	独占禁止法および競争法(基本)
	10月～12月	1. ワークプレイス・ハラスメント(従業員編) 2. ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン(管理者編)
2023年	1月～3月	グローバルな贈収賄および汚職防止(基本)
	4月～6月	職場内暴力といじめ
	7月～9月	利害の対立
	10月～12月	グローバルワークプレイスハラスメント(従業員編)
	1月～3月	独占禁止法および競争法(上級)
2024年	4月～6月	グローバルな贈収賄および汚職防止(上級)
	7月～9月	財務の健全性
	10月～12月	ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

コンプライアンス教育の拡充

コンプライアンスを徹底し内部通報制度が適切・有効に機能するためには、従業員の知識と理解が特に重要です。そのため、2022年4月よりグループ共通のコンプライアンス研修を実施しています。今後も教育環境の整備を進め、コンプライアンスや内部通報制度の内容について、グループ全従業員の理解度向上を図ります。

前述の統一されたグローバル・コンプライアンス・トレーニング・プログラムの土台の上に、例えば日本では別途階層別教育を実施、APLLではグローバルな贈収賄・汚職防止についてより双方向的かつ深い内容のウェビナーを展開するなど、グループ各社が必要性と事情に応じて独自のプログラムを加えることで、総体としてさらなる実効性向上を目指しています。

コンプライアンス違反について

2023年度において、反競争的行為、反トラスト法違反、独占禁止法違反により法的措置を受けた事例はありませんでした。



VOICE

コンプライアンスとリスク管理の強化

当社の法務・リスク管理・コンプライアンス(LRC)チームは、過去1年間を通じて、KWEのグローバルコンプライアンスプログラムの強化に注力してきました。全社的なコンプライアンス体制の監督と標準化を目的に新たに2層構造の倫理委員会を設立したほか、LRCチームは継続的に方針やプロセスの改善に取り組み、適宜助言を行ってきました。

さらに、グローバル内部通報システム(ホットライン)の導入により、報告内容が適切に監視・評価される仕組みを構築しました。全社員を対象とした定期的なオンライン研修や、高リスク社員向けの対面研修も年間を通じて実施し、コンプライアンスの意識向上に努めています。

これら一連の取組みをほかの主要部門や各地域とも連携しながら進めることで、LRCチームは、リスクとコンプライアンスに対する包括的なアプローチを確立しました。また、グループジェネラルカウンセルおよびコンプライアンス部門の責任者を含む同チームは、経営陣から提起される突発的な課題にも迅速かつ積極的に対応し、持続可能な予防措置の強化を図っています。

今後も、KWEが信頼されるビジネスパートナーであり続けるため、これらの取組みをさらに発展させ、地域社会との良好な関係を維持していきます。

Head of Group Compliance
Stephen Walton

